

第 2 部

基本構想

1. 目指すまちの姿

(1) 将来像

次の将来像を本町が描く 10 年後の姿として設定し、まちづくりを推進していきます。



(2) 将来像に込める想い

心地よい潮風が吹き抜ける伊方町。

「細く 長い」特徴的な地形をもつ、佐田岬半島に位置する町。

宇和海と瀬戸内海に挟まれるこの町は、住民だけでなく、町を訪れる人にとって、海と大地を感じることができる魅力の宝庫です。

町には常に新しい風が吹き続け、この地に魅了された人々が活躍し、時代の先端技術も取り入れる体制が整い、まちの暮らしは豊かになっています。ここでの暮らしは、都会のような喧騒がなく、日々の生活に確かな喜びを感じさせてくれます。

佐田岬半島とともに、今日まで長い時間をかけて、受け継がれてきた知恵と、何より温かい住民の想いを活かし、心穏やかに長く永く幸せを感じることができるまちを目指していきます。

2. 人口ビジョン（目標人口）

国立社会保障・人口問題研究所（以下、「社人研」という。）の令和5（2023）年推計準拠では、令和22（2040）年に4,841人、令和32（2050）年に3,502人と減少の一途を辿り、令和42（2060）年には、2,436人と2020年人口の30%未満となることが見込まれています。

ついては、本計画の将来像の実現を目指すとともに、下記の条件で推計した人口を目標人口として設定し、各分野の施策及び第3次総合戦略を推進することで、目標人口の達成を目指していきます。また本項は、新たな伊方町人口ビジョンとしても位置づけます。

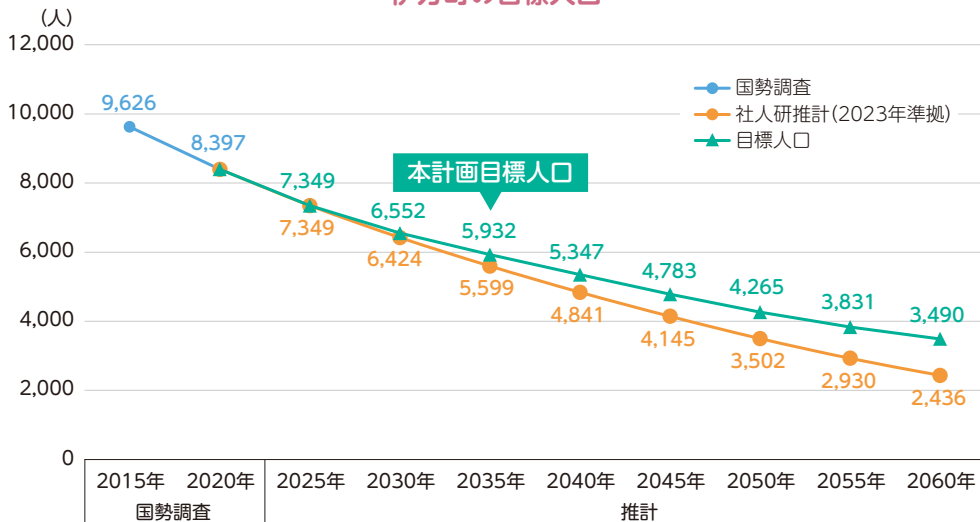
目標人口達成の条件

2035年までに合計特殊出生率 2.07 及び社会移動均衡

【2035年目標人口】

6,000人

伊方町の目標人口



※目標人口は、社人研推計をベースに、条件を踏まえコーホート要因法により推計

年齢3区分ごとの目標人口

人口	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
総数	8,397	7,349	6,552	5,932	5,347	4,783	4,265	3,831	3,490
0～14歳	636	472	391	441	504	507	458	425	433
15～64歳	3,781	3,158	2,725	2,326	2,016	1,773	1,685	1,646	1,582
65歳以上	3,980	3,719	3,436	3,165	2,827	2,503	2,122	1,760	1,475

人口構成比	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
総数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
0～14歳	7.6%	6.4%	6.0%	7.4%	9.4%	10.6%	10.7%	11.1%	12.4%
15～64歳	45.0%	43.0%	41.6%	39.2%	37.7%	37.1%	39.5%	43.0%	45.3%
65歳以上	47.4%	50.6%	52.4%	53.4%	52.9%	52.3%	49.8%	45.9%	42.3%



3. 基本目標

第3次総合計画では、7本の基本目標を設定し、次の方針に基づいた施策を推進していきます。

(1) いのちと暮らしを育む安心基盤（防災・減災）

町の最重要課題の一つである防災力を高め、消防、防犯、交通安全の各分野を有機的に連携させていきます。統合的かつ包括的な安全対策を強力に推進し、緊急時への対応力に加え、日々の生活における安心を確立することを目指します。

(2) 心をつかむ住まいの構築（移住・定住）

住民一人ひとりが愛着と誇りを持てる持続可能な住環境の充実を図ります。また、地域に新たな活力と魅力を生み出せるよう、空き家整備を含む移住できる環境の充実を図り、未来を共に育む環境づくりを目指します。

(3) 健やかに温もりで支え合う地域社会（保健・医療・福祉）

住民一人ひとりが、年齢や障がいの有無に関わらず、住み慣れた地域で自分らしく、安心して暮らし続けることができるよう、支え合いと共生の地域社会の実現を目指します。

(4) 快適な暮らしと活力を生む社会基盤（社会基盤）

住民が快適に暮らせる住環境を確保し、持続的に地域の活力を生む社会基盤を整備・維持します。まちな自然環境との共生を図りながら、豊かな生活環境の充実を図る地域社会の実現を目指します。

(5) まちを彩る地域経済の創造（産業・観光）

地域の豊かな資源を最大限に活用し、持続可能で強靱な地域経済基盤による、住民の生活の質の向上を図ります。また、新たな価値を創造することで、地域ブランドを確立し、多様な「彩り」と「活気」をもたらす魅力あふれる社会の実現を目指します。

(6) 人と知（地）がつながる学びの場（学び・交流）

住民一人ひとりが心豊かな生活を送り、自己の可能性を最大限に引き出せるよう支援します。また、ふるさと愛の醸成とともに社会課題を解決できる人材育成に努め、地域とともに生きる学校づくりを目指します。

(7) しなやかに未来をつくる共創と連携（行財政・協働連携）

町を取り巻く社会情勢の変化にしなやかに対応しながら、住民、多様な団体、地域内外の機関との持続可能な地域社会を創造します。開かれた行政運営のもと、共に地域課題を解決し、新たな価値を生み出せる未来づくり、豊かな地域づくりを目指します。

4. 施策体系

次の施策体系をもとに、施策の展開を図っていきます。

将来像	基本目標	基本施策	総合戦略
長く 永く 幸せ感じる 伊方町	1 いのちと暮らしを育む安心の基盤 (防災・減災)	1 災害への備えの充実	第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略
		2 迅速で安心できる消防体制	
		3 防犯活動と交通安全の充実	
	2 心をつかむ住まいの構築 (移住・定住)	4 暮らしやすい住環境の確保	
		5 住まいの循環と新たな人の流れづくり	
	3 健やかに温もりで支え合う地域社会 (保健・医療・福祉)	6 健康で暮らせる環境づくり	
		7 安心できる医療体制の整備	
		8 子育て世代が安心できる環境整備	
		9 高齢者福祉と生活支援の充実	
		10 障がい者の自立と社会参加の支援	
		11 支え合う地域福祉の推進	
	4 快適な暮らしと活力を生む社会基盤 (社会基盤)	12 自然環境の保全と共生	
		13 便利で安全な道路・交通環境の整備	
		14 水道インフラの充実と適正管理	
		15 港湾・漁港整備の推進	
	5 まちを彩る地域経済の創造 (産業・観光)	16 食と資源を支える産業の強化	
		17 地域商工業の活性化	
		18 観光の魅力向上と誘客促進	
	6 人と知(地)がつながる学びの場 (学び・交流)	19 学びの質の向上と教育環境の充実	
		20 誰もが学び続けられる環境づくり	
		21 伝統文化の振興と次世代への継承	
		22 地域間・国際交流の活性化	
	7 しなやかに未来をつくる共創と連携 (行財政・協働連携)	23 地域コミュニティの活性化	
		24 人権尊重と男女共同参画の推進	
		25 持続可能な行政経営とDX推進	
		26 情報発信力・広報力の向上	
		27 広域連携の推進と強化	



